

全国青少年体験活動 推進フォーラム

テーマ

ウェルビーイングを実現させる体験活動 ～全ての子供たちに～

令和5年

11月18日(土) 9:45～15:15

会場 **国立妙高青少年自然の家**

対象 青少年教育指導者、教員、学生、教育行政関係者、幼稚園教諭、保育士
体験活動に興味がある方、体験活動の指導者を目指す方、保護者等

「本当の幸せとは」「一人ひとりの幸福とは」について体験活動の視点から一考察を行います。様々な体験活動を通して得られる、自己有能感や自己肯定感がどのような体験活動プログラムで生起し、どのような物的・人的環境の中で構築されていくのか、各分野の実践発表や、ワークショップ形式等による協議を行い参加者同士学び合いを深めます。この学び合いを参加者一人ひとりの企画・運営等に活かせる内容とします。

ウェルビーイングを実現させる体験活動の重要性について再認識をするとともに、様々な実践事例について考察し、成果や課題等について全国に普及啓発する機会とします。

参加費 無料

募集人数及び申込について

- (1) 募集人数 200名程度
- (2) 申込期限 令和5年10月25日(水) 17:00まで
- (3) 申込方法 FAX・WEBフォームにて



↑開催要項は
こちら



↑申し込みは
こちら

鼎談三者紹介



東京大学先端科学技術研究センター
客員上席研究員
(株)スノーピーク社外取締役 他
上松 恵理子 氏



信州大学理事・副学長
平野 吉直 氏



オリンピック
(北京オリンピック競泳)
種田 恵 氏

お問い合わせ

主催



独立行政法人国立青少年教育振興機構
国立妙高青少年自然の家

〒949-2235 新潟県妙高市大字関山 6323-2 TEL 0255-82-4321 FAX 0255-82-4325



日程及び内容・講師 令和5年11月18日(土) 9:45～15:15

時間	内容・講師		
9:45	受付		
10:15	開会式		
10:30	鼎談 「ウェルビーイングを実現させ、夢や希望を与える体験活動」 平野 吉直 氏 *進行役 種田 恵 氏 上松 恵理子 氏		
12:00	昼食・休憩等		
13:30	分科会 大テーマ 「全ての子どもたちに豊かな体験活動を」 第1分科会 コーディネーター 坂本 昭裕 氏 (筑波大学教授) 第2分科会 コーディネーター 伊野 亘 氏 (上越市立高田西小学校介護員、元国立青少年教育振興機構理事) 第3分科会 コーディネーター 中野 充 氏 (新潟青陵大学准教授) 「学校教育における体験活動を見直そう！～リアルな体験活動は可能か？～」 「幼児教育における自然体験活動には学びがいっぱい！～不自由な体験から学ぶ～」 「体験活動の感動を高める伝えるICTの活用！」 事例紹介 上越教育事務所 社会教育課長 二瓶 昭夫 氏 (福)恵信会 ときわこども園 園長 笠原 千鶴留 氏 東京大学先端科学技術研究センター客員上席研究員 (株)スノーピーク社外取締役 他 上松 恵理子 氏 上越市立城西中学校 教頭 近藤 和久 氏		
14:30	休憩		
14:45	分科会の報告(情報共有) ①コーディネーターより ②平野吉直氏よりまとめ		
15:15	閉会式/解散		

昼食申込について 670円(税込み)

- (1) 事前申し込みとなります。下記申し込みと同様10月25日(水) 17:00まで
- (2) キャンセルは開催日の3日前までとなり11月15日(水) 17:00まで

全国青少年体験活動推進フォーラム【参加申込書】

下記欄に必要事項を記入し、国立妙高青少年自然の家へ FAX (0255-82-4325) または、Webフォームにてお申し込みください。

10/25(水) 〆切



←Webフォームでの申し込みはこちら

（ふりがな） 氏名	
所属団体	
住所	〒 ー
電話番号 (自宅または携帯)	
メールアドレス	@

内容	参加希望 (いずれかに○)	
鼎談 10:30～12:00 「ウェルビーイングを実現させ、夢や希望を与える体験活動」	参加	不参加
昼食 12:00～13:25	有	無
分科会 13:30～14:30	参加	不参加
	1. 第1分科会 学校教育における体験活動を見直そう！～リアルな体験活動は可能か？～	
	2. 第2分科会 幼児教育における自然体験活動には学びがいっぱい！～不自由な体験から学ぶ～	
	3. 第3分科会 体験活動の感動を高める伝えるICTの活用！	

【個人情報の取り扱いについて】

- ・ 個人情報は「独立行政法人国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規定」等に基づき適切に管理いたします。
- ・ 本事業で職員が撮影した写真や映像等を当機構の広報等に使用する目的で報告書や刊行物、インターネット等に掲載することがあります。